

令和7年度 北海道常呂高等学校 学校評価票

本年度の重点目標

- (1) 学力の向上を図るため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するとともにICTを効果的に活用する。
- (2) 生徒の学びを通じて地域創生を実現するため、小中学校及び地域と連携・協働した学習活動を推進する。
- (3) 困難に打ち克つ人格を涵養するため、主体的に探究することができる資質を養う。
- (4) 他者と良好な関係を築くため、コミュニケーションを礎に人間関係構築能力を育む。

学校関係者評価
(自己評価の
適切さ)
A: 適切
B: ほぼ適切
C: やや不適切

学校評価アンケート集計結果					内部評価 達成度… A: 十分 B: おおむね十分 C: やや不十分 D: 不十分		学校関係者評価	
項目	評価項目	生徒	保護者	教職員	平均	達成度	改善の方策	自己評価の適切さ
学習指導	① 生徒の「基礎学力の定着」や「発展的な学力」が育まれる学習指導を行っている。	3.9	4.3	4.1	4.1	B	R9教育課程において、「学び直し」の要素を加える方向で検討を進める。	A_5 B_2 C_0
	② 生徒に「学ぶ喜び」や「わかる喜び」を感じさせるなど、主体的な学びにつなげる学習指導を行っている。	3.9	4.5	4.0	4.1	B	ICTの活用について、生徒が学ぶ喜びやわかる喜びを実感できるよう研修を深める。	
	③ 「観点別評価」や「授業評価」を活用し、授業の改善に努めている。	4.2	4.5	4.3	4.3	B	生徒へのフィードバックを充実させ、指導と評価の一体化を推進する。	
	④ 「探究活動」や「実習活動」の充実を図り、生徒が将来、地域の創り手となる資質を育てている。	4.6	4.7	4.7	4.7	A		
	⑤ 遠隔授業やGoogle classroom、学習アプリの導入等、ICTを活用した授業やその他教育活動を行い、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実させている。	4.7	4.6	4.5	4.6	A		
	意見要望	子どもたちが喜びを感じられるよう、授業の改善に努めてほしい。						
生徒指導	① 生徒と教員の信頼関係に基づいた生徒指導をしている。	4.5	4.6	4.4	4.5	A		A_6 B_1 C_0
	② 生徒に様々な教育活動（学校行事、生徒会活動、部活動・同好会活動、局・委員会活動など）を主体的に取り組ませ、豊かな人間性の育成につなげる指導を行っている。	4.2	4.3	4.3	4.2	B	学校行事や生徒会活動を中心に、生徒が主体的に取り組む機会を意図的、計画的に設ける。	
	③ 家庭（保護者）や地域・関係機関と連携を密にとりながら、生徒指導を進めている。	4.2	4.5	4.5	4.4	B	学校や地域における生徒の活躍を、学校WebやInstagramを通じてタイムリーに発信する。	
	④ いじめ防止等、生徒一人一人が安全・安心に学校生活に送ることができる指導に努めている。	4.1	4.6	4.4	4.3	B	生徒が安全・安心を実感できるようマルチレベルアプローチ（PBISやSEL-Bなど）のプログラムを定期的実施する。	
	意見要望							
進路指導	① 計画的・系統的・継続的な進路指導を行っている。	4.3	4.4	4.1	4.3	B	1～2学年の指導計画を改善・充実させ、キャリア教育の体系化を進める。	A_6 B_1 C_0
	② 生徒が、自己を理解し、自身の望ましい職業観や労働観が養われる指導に努めている。	4.2	4.5	4.1	4.3	B	LHRにおいて、自己理解や自身にとって望ましい職業観の育成に係る取組を計画し、実行する。	
	③ 家庭（保護者）と連携し、進路指導を進めている。	4.1	4.1	4.3	4.2	B	各家庭の進路指導に関するニーズを把握し、連携の強化に努める。	
	④ 地域や関係機関と連携し、生徒一人一人の社会性・協働性・社会への貢献力の育成を図っている。	4.4	4.6	4.5	4.5	A		
	意見要望	アンケートの質問（表現）について、もう少し理解しやすい言葉遣いにした方がよい。						
健康・安全指導	① 避難・防犯訓練や日頃の指導を通し、生徒に防災意識や危機回避能力を身につけさせている。	4.3	4.6	4.7	4.5	A		A_7 B_0 C_0
	② 清掃活動等を通して、環境美化の意識を育成している。	4.2	4.4	4.3	4.3	B	生徒会保健委員会の活動を活性化し、生徒の環境美化の意識高揚を図る。	
	③ スクールカウンセラーの活用や教員への相談等、生徒が相談しやすい体制を充実させ、生徒理解に努めている。	4.4	4.6	4.6	4.5	A		
	④ 特別支援体制を充実させ、生徒一人一人の能力を高める取組をしている。	4.3	4.5	4.4	4.4	B	教育相談を充実させ、個々の生徒が成長を実感できるよう、個別最適な支援を行っていく。	
	意見要望							
事務	① 窓口や電話での対応等を適切に行っている。	4.6	4.9	4.8	4.7	A		A_7 B_0 C_0
	② 就学支援金・証明書の発行等の事務処理を適切に行っている。	4.7	4.9	5.0	4.9	A		
	意見要望							
信頼される学校づくり	保護者及び地域から信頼される学校づくりの推進 ① 学校だよりやHP等の広報活動の充実 *以下に関連アンケート項目あり ② 幼・小・中及び関係機関との連携強化 *以下に関連アンケート項目あり ③ 学校評価の充実と改善	-	-	-	-	A		A_7 B_0 C_0
	*① 「学校通信（クレマチス）」「学級通信」「公式ツイッター」「ホームページ」等、教育活動に関する情報発信が充実している。	4.4	4.5	4.8	4.5	A		
	*② 地域資源（自然や人材、施設等）を積極的に活用した教育活動を行っている。	4.3	4.6	4.5	4.5	A		
	*② 様々な教育活動を通し、地域・家庭・学校が互いに協力し合う体制の中心となる役割を担い、個々と、個々を取り巻く環境の好循環を生み出している（ウエルビーイングの実現）。	4.1	4.5	4.4	4.3	B	生徒と、地域や家庭が協働する機会において、事後の振り返りを充実させ、意義や感謝等を感じさせる。	
	意見要望							
組織運営	学校経営参画意識の向上 ① 職員の協働意識の高揚 ② 危機管理意識の定着化 ③ 勤務時間縮減の推進 ④ 地域に選ばれる学校づくり *以下に関連アンケート項目あり	-	-	-	-	B	④の観点について、以下に関連アンケート項目に関する改善方策を実行する。	A_4 B_3 C_0
	*④ 生徒の主体的な学びや一人一人のキャリア形成を重視し、「活力ある学校づくり」に取り組んでいる。	4.2	4.4	4.3	4.3	B	様々な場面で自己決定の機会を設けるとともに、成果を実感できるよう振り返りの時間を設ける。	
	*④ 地域・家庭（保護者）や子どもたち（中学生）が「行かせたい学校」「行きたい学校」となってきた。	3.5	3.9	3.9	3.7	C	地域住民対象アンケート（R6）や生徒・保護者等の声を拾い、教育活動の改善・充実を推進する。	
	*④ 「魅力ある学校」に向けて取組を進め、地域から支持される学校となってきた。	4.1	4.2	4.2	4.2	B	特色ある教育活動について、様々な広報媒体を活用し、見える化を図るとともに、外部連携を充実させる。	
	意見要望							
資質職能力の向上	日常的な研修の推進 ① 教科指導力の向上を図る研修の推進 ② 学校職員人事評価制度と教職員育成指標の活用 ③ 法令遵守と服務規律保持	-	-	-	-	A		A_7 B_0 C_0
	意見要望							